

ムコ多糖症Ⅵ型治療薬「ナグラザイム®」 に関する事業承継物語

新たなステージへ

2019年4月5日

会社に応んなものが届きました。



高額な治療費のための街頭募金活動を知った

2005年

知り合いの小児科医からこんなことを聞いた。

ムコ多糖症VI型にかかっている子供2人(息子・娘)をもつ、
両親が子供の治療費のために岡山駅前で募金活動をしている。



知り合いの小児科医



山田社長

ムコ多糖症VI型患者の存在を知る

ムコ多糖症VI型とは、
遺伝的な要因で、体内の酵素が生まれつき欠損または機能低下し、
骨の変形や特異な顔つき、筋肉の膠着(こうちゃく)や
関節が固いといったものが重い症状として現れる、
日本国内での患者は9名とごく珍しい病気。
治療薬は日本に無くて、
アメリカから輸入しなければならないみたいです…



知り合いの小児科医



山田社長

その場で即答

その話を聞いて、山田社長はその場で

ぼくが何とかします！

と答えた。

そして、すぐその父親と面会した。



知り合いの小児科医

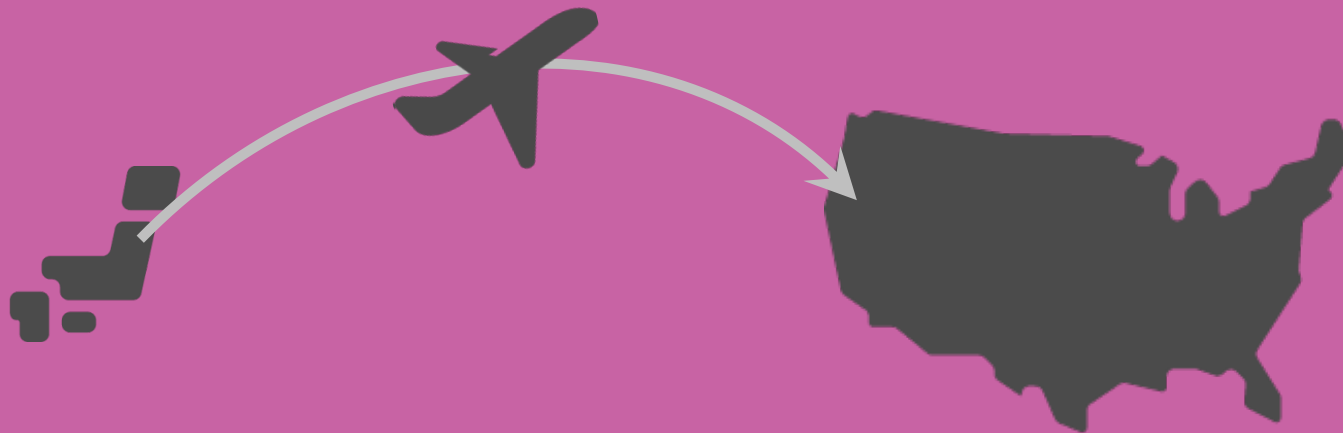


山田社長

思い立ったらすぐ行動した

2005年

当時、ムコ多糖症Ⅵ型治療薬「ナグラザイム®」を
販売していた米国バイオマリン社に
日本国内における「ナグラザイム®」の開発販売権を交渉しに行く。



こちらの想いが通じて

2006年

交渉の結果、米国バイオマリン社から
日本国内における「ナグラザイム®」の開発販売権を取得。



ムコ多糖症VI型治療薬の販売開始

2008年4月

2年の承認期間を経て国内での販売を開始した。

2019年現在、日本での患者数は9人で、
既に3人は骨髄移植を選択しているため、
6人がこの治療薬を投与しているそうです。



ナグラザイム®点滴静注液5mg

新たなステージへ

2019年3月末

をもって「ナグラザイム®」の国内の製造販売権を
アンジェスからバイオマリン社日本法人に承継しました。

私たちが「ナグラザイム®」を販売しなくなっても、
出会ってから約13年間で培われた、
子ども達やご両親、ご家族への想いは、
紡がれていくはずです。